

## 会議の結果

係	係長	課長	次長	教育長
件名	平成21年度第3回社会教育委員会議定例会			
日時	平成21年9月18日(金曜日)13時30分～16時30分			
場所	秋津野ガルテン			
出席者	社会教育委員 久保議長、高垣副議長、平野委員、千品委員、田ノ岡委員、川根委員 近藤委員、西川委員、久保智委員 岡本委員 計10名 (欠席 鈴木委員、山本委員、嶋口委員)			
	職員 中村教育長 生涯学習課 大門課長、小川生涯学習推進係長、三栖公民館係長、生駒生涯学習指導員、 中田地域教育主事、岡本主査、能城芳養公民館主事、下田上秋津公民館主事 図書館 松原館長、図書館太田次長、新谷庶務係長 計12名			

### 1. 教育長挨拶

中村教育長から挨拶を行った。

国の状況としては、8月末の衆議院選挙で政権交代が起こり、現在、田辺市でも議会が開催されている。委員さん方も国の状況や田辺市の状況をしっかり見極めていただきたいと思う。現在、田辺市の社会教育委員会が非常に活性化されているとお聞きしており、私たちも非常にありがたく、感謝している。本日も、思い切って意見を述べ合っていたきたい。

#### 【岡本委員さんの紹介】

羽根委員の退任に伴い、8月から就任した岡本委員を紹介し、挨拶を行った。

本宮地区から推薦をいただきました。合併前は、公民館長を務め、公民館活動を行ってきました。皆さんのお役に立てるように頑張っていきますので、よろしくお願いします。

### 2. 議長挨拶

久保議長が挨拶を行った。

私自身いろいろな会議に出席をしましたが、先日、第1回の地域コーディネーター養成講座にも出席し、近藤さん、西川さんが活躍されているのを見ました。受講生がだんだんと顔つきが変わってきたのを見た訳ですが、グループの中で入りきれていない人も数名いました。私自身、そういう人が大切なのかなと思いましたし、そういう人に興味を持ってもらうために、一生懸命スタッフの皆さんがやっておられました。



また、先日、社会教育功労者表彰の選考委員会がありましたが、「推薦してもらう方の幅が狭くて、分野もほとんど変わっておらず、もっと地域で長年頑張っている人を挙げてくる必要があるのではないか。いかに行政と地域が密着していないかということや。」と言われる方がおられました。私自身、社会教育委員は地域と行政のパイプ役という信念でやってきたが、集まった他の方からそういう風に言われるということは、行政だけの責任では無く、私たちもその責任を担っているのではないかと思いました。私たちは、行政と地域を良くしていけるかということを実際に考えていける団体だと思っています。今日を皮切りに地域の問題点などを勉強していく訳ですが、できればその後、行政のできないところで、私たちが何ができるのかということをおみんなで考えていきたいと思っています。

### 3. 報告事項

これより久保議長が進行を行う。

#### 【報告・説明】

- (1) 平成 21 年度（平成 20 年度対象）教育委員会点検・評価報告書について  
「別冊資料」について、大門生涯学習課長から説明を行った。
- (2) 生涯学習フェスティバルについて
- (3) 第 3 3 回市民親子ハイキングについて  
「資料 1 ~ 4 頁」を小川生涯学習推進係長から説明を行った。
- (4) 平成 2 1 年度「成人の日」記念式典について  
「資料 5 ~ 8 頁」を三栖公民館係長から説明を行った。
- (5) 田辺市体育指導委員の委嘱について
- (6) 第 5 回市民スポーツ・レクリエーション祭について
- (7) 第 5 1 回関西実業団対抗駅伝競走大会について
- (8) 田辺市立美術館「生誕 100 年記念 浜口陽三 展」について  
「資料 9 ~ 1 5 頁」及び「別紙資料」について小川生涯学習推進係長から説明を行った。

### 4. 報告事項

田辺市地域コーディネーター養成講座について、小川生涯学習推進係長から説明を行った。その他、報告事項は説明無し。

#### 【質疑応答】

##### [ 近藤委員 ]

点検・評価報告書で、事業の評価の部分で整合性が取れないところがある。また、予算額と決算額が同額のところが何箇所かあるが、市民の側からするときっちり合っていないところは有効性から見るとおかしいように思う。小学校への A E D の設置状況や、給食費の納付率やアレルギー児の対応、美術館の脇村家関係者の意向の重視など、その具体的な内容なども教えていただきたい。

##### [ 大門課長 ]

全て今すぐお答えができないので、担当課に聞いた上で、整理して委員さんにお答えしたいと思います。予算と決算の部分は、補助金をお支払いする場合は、ほとんどが予算額と決算額が同額になっている場合もあります。

##### [ 高垣委員 ]

学校評議委員というものを初めて知ったのですが、どういったものですか。近藤委員さんの質問と一緒に回答で良いです。また、不登校問題で、相談にきて理由が分からないという子どもがいて、先生もいじめ等は無と言われる訳ですが、10年~20年経ってその当時の話をすると、ほとんどがいじめや嫌がらせのようなことがあったと言います。そういうことも踏まえて、学校現場などでも注意して見ていただきたい。それから、61頁の「参加者の人数面や参加者が新しい顔ぶれになってきており、これに当事者は苦労している。」の意味を教えていただきたい。食育推進計画にも触れられていますが、田辺市でもその計画をつくろうという動きは無いのですか。

##### [ 大門課長 ]

そういった部分も整理しまして、また回答させていただきます。

##### [ 西川委員 ]

田辺市で社会教育主事の資格をお持ちの公民館主事さんは何名おられますか。また、今後取得していく計画はどのようにしておられますか。

[ 三栖係長 ]

公民館主事が15名いまして、4名が取得しています。

[ 大門課長 ]

あと、生涯学習課では、大門、小川、中田が持っており、合計7名です。今後は、毎年1名は主事講習に行くというスタンスでいきたいと思っています。

[ 中村教育長 ]

田辺市としては、必ず1名ずつは行かせたい。行政のみではなく、学校教育の現場の教師にも行かせたいと県教委にも言っているが、何の手立ても無い。きちんとした手立てがあれば取りたいという教師もいる。他府県においては、管理職試験の条件になっているところもあるが、何にも手立てが無ければ、行けないのが現実である。

[ 大門課長 ]

社会教育主事の資格は、一般行政職にも役に立つことが多い。たくさん行ければ良いのですが、予算の関係上1名ずつとなっています。

[ 田ノ岡委員 ]

教育委員会以外で点検・評価シートのようなものはあるのですか。

[ 大門課長 ]

田辺市には総合計画があり、実施計画というものがあります。実施計画の中で見直しや改正等を行っています。ただ、公表はしていませんし、内部資料といった形です。教育委員会のような点検・評価委員会といったものはございませんが、教育委員会で公表となってきましたので、今後はそうなるかもしれませんが、今のところはありません。

[ 久保智委員 ]

41頁の世界遺産保全事業の委託料ですが、県の補助率と内訳を教えてください。それから牛馬童子の補修経費についても教えてください。

[ 大門課長 ]

それも先ほどの質問と合わせて回答いたします。

[ 久保議長 ]

それでは、この辺りで質疑応答を終わりにして、協議事項に入りたいと思います。

## 5. 協議事項

### (1) 新図書館基本計画について

図書館松原館長、太田次長、新谷庶務係長から説明を行った。

#### 【質疑応答】

[ 西川委員 ]

司書の配置の人数や正職員、臨時職員の割合とかはまだ決まっていますか。

[ 松原館長 ]

現在、6名の司書がいて、当然増員が必要だと思っておりますが、まだ決まっています。正職員になるのか、臨時職員になるのかもまだ決まっています。

[ 近藤委員 ]

前回の会議の時にも、駐車場の無料化について話があったと思いますが、どうなりましたか。個人的には、市民総合センターなど同様の使用者の負担があっても良いと思っています。

[ 松原館長 ]

有料で考えています。あとは何時間を無料にするのか。市役所と同様に1時間にするのか、せめて2時間にするのか、といったあたりですが、基本的には有料です。



[ 田ノ岡委員 ]

インターネット環境は、有線でつなぐとか、無線でつなぐとかはどうお考えですか。

[ 太田次長 ]

今の段階では、5台のパソコンをつなぐ予定です。持ち込みについては、使える状況を作っていきたいと思っています。有線・無線は今のところ考えていませんが、電源を取って使える状況にしていきたいと思っています。

[ 千品委員 ]

図書館の情報発信について、どのようにお考えですか。今の図書館は、図書館へ行かなければなりません、図書館の機能を自宅で利用できる方法なども考えていただきたいと思います。

[ 久保議長 ]

それでは、図書館については、この辺で終わりたいと思います。

( 図書館職員は退席 )

## ( 2 ) 各協議会等への参加に係る事前協議について

生涯学習課岡本主査から各協議会の資料の説明や、今後の会議の説明を行った。

### 【協議内容】

[ 久保議長 ]

各委員さんが各会議へ行っていただくと思いますが、お互いに内容を共有し、お互いにアドバイスができるような形をつくっていこうということに前回の会議でなりました。委員の皆さんから何かご意見はありませんか。

[ 近藤委員 ]

私の個人的な意見ですが、今度美術館協議会に参加するにあたって、そこに参加するのは個人として参加するのではなくて、委員会の代表として参加するので、美術館に対しての意見があれば是非聞きたいと思っています。

[ 大門課長 ]

今回、社会教育委員会議として始まって以来、初めて他の委員会の資料を集めて、皆さんにお渡ししています。委員会の代表として出席するという意識を持っていただいて、共有をいただき、お互いの情報交換をしていただきたい。

[ 千品委員 ]

情報関係ですが、2011年の地デジ化ということでテレビの画質もすごくきれいに見える。美術館にどんなものがある、どんなことがあるといった情報を発信してほしい。例えば、田辺市のホームページなどでも美術館にこういった作品があるのかなどの情報の発信の仕方を考えてほしい。

[ 久保議長 ]

美術館は人がきてもらうシステムをつくらないといけないので、PRの方法を考える必要がある。予算や子どもたちが触れないもの等もあって難しい点もあると思いますが、学校の遠足などでも利用してもらったり、高校などで、将来、美術を目指す子どもたちに利用してもらったりとか、集客という面を考える必要があると思う。

[ 近藤委員 ]

企画の内容ですが、面白いものでないときてくれないので、そういった企画内容などアイデア等無いですか。

[ 川根委員 ]

各幼稚園等で描いた絵を貼らせてもらうのも1つの手だと思います。いかに集客するかと考えると、小さい子どもに興味があって、おじいちゃん、おばあちゃんまできてくれる物とすれば、子どもの描いた絵かなと思います。

[ 近藤委員 ]

子どもさんの絵を貼らせてもらえば、家族できてくれるので面白い。写真愛好家の人たちの写真を貼るとか、それぞれの対象に合わせた作品の展示も面白いと思います。

[ 西川委員 ]

さわれる、体感できるものはないのでしょうか。子どもがさわれないというが、逆の発想でさわれるもの、五感で学べるものがあればと思います。

[ 近藤委員 ]

美術館は汚しては駄目という考えがあるのでしょうか。自分たちで何かを作ったり、絵画を描いたりとか、そういう美術関係の講座なども面白いのではないかと思います。ただ、私たちは集客という部分ばかりを考えていますが、運営側としては汚したりしないでほしいといったこともあるのかもしれませんので、その兼ね合いも大事だと思います。

[ 中村教育長 ]

私も校長会の代表として美術館の委員をしました。私たちは学校現場としましても、できるだけ美術館に人が集まる運営をしようではないかという構えでいました。我々の市民サイドからすれば、幼稚園、小学校、中学校等の力作を展示すれば、保護者がくるのではないかという意見もありました。しかし、いろいろなメンバーがいる中で、田辺市の美術館の価値観という面を考えると、そういうことをすれば、田辺市の美術館の価値が下がってしまう。日本の国内でもレベルの高い美術館にしてほしい、田辺市民に一流品を見ていただきたいという思いが非常に強い。そういった意見があり、非常に厳しいわけなのです。

[ 久保智委員 ]

なかへち美術館も世界的に有名な方が設計をされており、それを目当てにきている人がいる。ある時に、休館日にきた団体の人たちがいたが、習慣を作ってしまったはいけないということで、休館日なので開けなかったと聞きました。中の美術品を見てもらうのが本来であるが、そういう鑑賞にきている人たちへの思いやりという感覚も考えていただきたい。

[ 田ノ岡委員 ]

横の連携というものも考えてほしい。美術館であれば、異分野の音楽などと共同するのはどうか。音楽も一流のものであれば、美術館もいいのではないかなと思います。もう一つは、広域の連携ですが、いろんな施設が連携をして、お互いに情報交換をしながらイベントをしていけば面白いのではないかな。美術館も芝生のスペースなどいい所もあるので、ああいうところももっとアピールしていけば良いのではないかな。



[ 平野委員 ]

学校でもアピールはするが、有名な人であればもっと行ってくれるのではないかな。また、学校行事として美術館に行っても、子どもたちが入ってさわれない、喋れない等で緊張感をずっと持っていないければいけないので、絵をじっくり見ることは難しい面もあると思いますが、そこだけを見に行くのではなく、施設めぐりとして入れていければと思います。また、他の各団体の社会見学などでもコースに入れてもらうのも方法かなと思います。招待券を配るというのも有効だと思います。

[ 中村教育長 ]

美術館も必死になってアピールをしているのも事実であります。学芸員が自ら貯蔵作品をまとめたものがあるので、それを持ってそれぞれの学校から要請をいただければ、出前事業も行うと言っています。1人でも足を向けていただいて、素晴らしい作品を見ていただきたい。美術館の課題は集客で、もっと足を運んでいただくための具体策は今ご提案いただいたような身近な作品の展示などではありますが、美術館の歴史もあり非常に厳しいというのが現実でありますので、その辺も委員さんには理解していただきたい。

[ 近藤委員 ]

手話通訳をしている関係で、講演会にも行くのですが、私も全てのフロアーを幼稚園の絵をするのではなく、1室でも貼らしていただければ、他の絵も見ていただけるのではないかなと思っているのですが。

[ 高垣委員 ]

美術館は大勢きてもらうということも良いことだと思いますが、今の美術館の姿勢は崇高な精神で良いのではと思います。運営の面で集客数を増やさなければ閉館になる等の問題が無ければ、今の姿勢は貴重だと思います。県立図書館ができたときに素晴らしい、図書館新しい形だと思って行ったのですが、行っているうちにうさいな、ここは子どもの遊び場ではないのに、ここは図書館なのに、という意識がでてきて、あそこは敬遠しています。やはり、理屈が立つものは、一番に大事にするものがそれぞれあるのではないかなと思っています。

[ 近藤委員 ]

いろいろと貴重な意見をありがとうございました。

[ 久保議長 ]

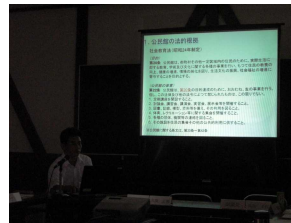
それでは、協議についてはこの辺で終了したいと思います。10分間休憩します。

## 6. 委員研修

久保議長から発表順を(1)田辺市の公民館の現状について、(2)上秋津公民館の取り組みについて、について、(3)秋津野ガルテンの取り組みについて、(4)芳養公民館の取り組みについての順番に変更して行くと説明をする。



(1) 田辺市の公民館の現状について  
三栖公民館係長から説明を行う。



(2) 上秋津公民館の取り組みについて  
下田上秋津公民館主事から説明を行う。



(3) 秋津野ガルテンの取り組みについて  
田ノ岡委員から説明を行う。



(4) 芳養公民館の取り組みについて  
能城芳養公民館主事から説明を行う。



## 【質疑応答】

[ 川根委員 ]

公民館長は地域から推薦をされて教育委員会が任命し、任期が2年という話ですが、公民館長の仕事と役割と、地域から推薦されるということですが、条件や資質があればお聞かせいただきたい。

[ 三栖係長 ]

仕事と役割ですが、社会教育法27条にあるように公民館が行う全ての事業の企画と実践が役割になります。条件、資質は、最終的には教育長が教育委員会に推薦して、承認をいただいた時点で初めて2年任期がスタートすることになります。その前の人選方法としては、町内会等から地域の意見を聞き、その人の地域での人望や文化的な素養、知識や過去の実践などから、公民館長にふさわしい人であるかどうかを判断しています。

[ 千品委員 ]

情報政策課から委託を受けて、情報交流サロンという運営を行っていますが、公民館は凄く重要なスペースと機能であると考えています。一般的に言われる縦割り行政の中で調整は難しいかもしれませんが、例えば情報交流サロンでゲーム機を持って行って、過疎集落のおじいさんやおばあさんがゲームを楽しむということは、子どもたちや孫との世代間教育という部分も持っています。そういう部分も理解していただいて、情報政策課がやっている事業ではありますが、実質は公民館事業の部分もありますので、行政の交流もしていただいて、公民館機能に取り込んでいただきたい。

[ 三栖公民館係長 ]

分かりました。

[ 西川委員 ]

主事の2人にお聞きします。主事として見える地域の課題を1つ、個人的な意見としてお聞かせいただきたい。

[ 下田上秋津公民館主事 ]

世代交代が課題だと感じられます。今まで、上秋津地域ではみんなを巻き込んで引っ張ってきた存在があって、その方々がきてら、ガルテンの取り組みを行っています。その後を引き継いだ秋津野塾のメンバーがその発足当時の熱があるのかと言えば、違うのかなと感じています。その中で、これから秋津野塾が活動していく上で、新たなメンバーを公民館として探していくのが必要だと思います。

[ 能城芳養公民館主事 ]

参加者の固定化です。熱心な人は、どんなことでも協力してくれるのですが、やはり無関心な方もおられます。今後は、今まで参加してくれていない人を、どうやって取り込んでいくのかということが課題だと考えています。

[ 西川委員 ]

久保議長から社会教育委員として何ができるのか、という話がありましたが、今、主事の2人が言われた意見は、他の公民館にでも不変的にある課題だと思います。特に参加者の固定化などは、紀南サテライトでも抱えている課題ですし、そういうものを一緒に悩みながら解決できる社会教育委員でありたいと思っています。テーマを見つけて、方向性を一緒に議論して、実際動いていく、サポートしていく、一緒に手伝うといったことをしてはどうかと思います。

[ 久保議長 ]

私も全くそのとおりだと思っています。本来の意味をもう一度勉強し直したいと思っています。今日は無理ですが、次回からはそういう面を掘り下げて協議していきたいと思っています。

[ 近藤委員 ]

秋津野ガルテンにこられた人の声とか、他所からこられた人の声などは集約されていますか。

[ 田ノ岡委員 ]

レストランと宿泊については、アンケートを置いて回答してもらったものは集約をしていて、対応できることやお聞きしておくだけに留めておくものに分けて参考にさせていただいています。それと、施設研修などでこられた団体からも意見をお聞きしています。大学のゼミなどでこられたところは、その報告をいただいたりして非常に参考になっています。ちょうど、事務所の横の廊下に和歌山大学と明治大学のゼミがまとめてくれたものを張り出していますので、よろしければご覧ください。

[ 岡本委員 ]

公民館活動についてですが、本宮のほうでも公民館活動はメンバーが同じです。行事に関して全て自分たちでやっていたことが、逆にメンバーの固定化を生んでしまったのが反省点であり、今後の課題となっています。非常に参考になりました。

[ 久保議長 ]

それでは、この辺で委員研修を終了とさせていただきます。

## 7. その他

- ・近畿社会教育研究大会について（報告）  
岡本主査から報告を行った。
- ・第4回定例会の日程調整について  
日時：11月20日（金）  
場所：世界遺産熊野本宮館  
内容：旧町村の公民館活動の取り組み
- ・平成21年度県社会教育研究大会  
岡本主査から説明を行った。

### 【意見等】

#### [近藤委員]

奈良の研究大会のことですが、報告書や感想などが必要ではないかと思えます。口頭報告でも良いとは思いますが、いかがでしょうか。

#### [久保議長]

以前から、必要ではないかと思っていたのですが、感想や意見等は提出する必要があると思えます。提出したものをどうするかは、事務局サイドで考えていただければ良いとは思いますが、いかがでしょうか。

#### [大門課長]

感想を言っていただく場は持ちたいと思えます。次回までに考えを整理していただいて思いや考えを出し合っていただけたらと思えます。

#### [久保智委員]

奈良大会の朝、移動中に道端で困っている人がいて、その人に対して久保議長や西川委員が親切に対応してあげていました。私は、こういうことこそが社会教育ではないかと思いました。理論より、実践が必要だと思いました。

#### [久保議長]

今回は、前半の時間配分がうまくできずに時間が押している訳ですが、次回からはもっと話のできる会議をしていきたい。社会教育委員として、何ができるか、何を協力できるかということを考えていきたい。報告事項などがいっぱいあり難しいとは思いますが、そういった方向でお願いをしたい。

#### [大門課長]

今回は、上秋津、芳養、ガルテンと旧田辺で最前線のところを知っていただきました。次回は教育事務所管内で1～2例程度出し、研究大会の感想などを出しながら、いろんな意見交換ができる時間を少なくとも30～40分程度とれるような形にしたいと思えますが、それでよろしいでしょうか。

#### [久保議長]

ありがとうございます。それでは、これで終了とさせていただきたいと思えます。

## 8. 閉会挨拶

高垣副議長から挨拶を行った。

久保議長の難しい話から始まりましたが、またこれからが楽しみですので、これからもよろしくお願ひします。